

## 付2. 転移・再発治療として使用される主な治療

### [抗がん薬治療（化学療法）]

一般名	商品名の例	投与量	投与方法	投与日	間隔・回数・期間	主な副作用	備考
AC療法（エーシー療法）					3週毎	骨髄抑制，吐き気・嘔吐，脱毛，口内炎，血管炎，心機能障害，色素沈着	
ドキシルピシン	アドリアシン	40～60 mg/m <sup>2</sup>	点滴（5～30分）	1日目			
シクロホスファミド	エンドキサン	500～600 mg/m <sup>2</sup>	点滴（60分）	1日目			
EC療法（イーシー療法）					3週毎	骨髄抑制，吐き気・嘔吐，脱毛，口内炎，血管炎，心機能障害，色素沈着	
エピルピシン	ファルモルピシン	60～90 mg/m <sup>2</sup>	点滴（5～30分）	1日目			
シクロホスファミド	エンドキサン	500～600 mg/m <sup>2</sup>	点滴（60分）	1日目			
3週毎ドセタキセル					3週毎	骨髄抑制，吐き気，脱毛，口内炎，皮膚症状，爪の変化，アレルギー反応，浮腫	
ドセタキセル	タキソテール	60～70 mg/m <sup>2</sup>	点滴（60分）	1日目			
毎週パクリタキセル					4週毎	骨髄抑制，吐き気，脱毛，口内炎，神経障害（しびれ・筋肉痛・関節痛等），アレルギー反応	
パクリタキセル	タキソール	80 mg/m <sup>2</sup>	点滴（60分）	1, 8, 15日目			
アルプミン懸濁型パクリタキセル（ナブパクリタキセル）					3週毎	骨髄抑制，吐き気，脱毛，口内炎，神経障害（しびれ・筋肉痛・関節痛等）	
アルプミン懸濁型パクリタキセル（ナブパクリタキセル）	アブラキサソ	260 mg/m <sup>2</sup>	点滴（30分）	1日目			
エリブリン					3週毎	骨髄抑制，吐き気，脱毛，神経障害（しびれ）	
エリブリン	ハラヴェン	1.4 mg/m <sup>2</sup>	点滴（5分）	1, 8日目			
ビノレルピン					3週毎	骨髄抑制，吐き気，脱毛，血管炎，神経障害	
ビノレルピン	ナベルピン	25 mg/m <sup>2</sup>	点滴（5分）	1, 8日目			
ゲムシタピン					3週毎	骨髄抑制，吐き気，皮疹，肝機能障害	
ゲムシタピン	ジェムザール	1,250 mg/m <sup>2</sup>	点滴（30分）	1, 8日目			

【抗がん薬治療（化学療法）：<sup>ハーブ</sup>HER2陰性の場合に使用される治療】

一般名	商品名の例	投与量	投与方法	投与日	間隔・回数・期間	主な副作用	備考
パクリタキセル+ペバシズマブ					4週毎	骨髄抑制, 吐き気, 脱毛, 口内炎, 神経障害 (しびれ・筋肉痛・関節痛等), アレルギー 反応, 蛋白尿, 血圧上昇, 出血, 創傷治癒遅 延	
パクリタキセル	タキソール	90 mg/m <sup>2</sup>	点滴 (60分)	1, 8, 15日目			
ペバシズマブ	アバスチン	10 mg/kg	点滴 (30分) (初回 90分, 2回目60分)	1, 15日目			
カペシタビン内服 (3週毎あるいは4週毎のどちらかの投与方法を選択)					3週毎	皮膚症状 (手足症候群・色素沈着), 口内炎, 下痢, 吐き気, 骨髄抑制, 味覚異常	
カペシタビン	ゼローダ	1回1,500~2,400 mg	1日2回 朝夕食後 内服	1~14日目服用 7日間休薬			
カペシタビン	ゼローダ	1回900~1,500 mg	1日2回 朝夕食後 内服	1~21日目服用 7日間休薬	4週毎		
S-1内服					6週毎	骨髄抑制, 皮膚症状 (手足症候群・色素沈着), 口内炎, 下痢, 吐き気, 味覚異常	
テガフル・ギメラ シル・オテラシルカ リウム配合剤	ティーエスワン	1回40~60 mg	1日2回 朝夕食後 内服	1~14日目服用 7日間休薬 1~28日目服用 14日間休薬			

【抗HER2療法：HER2陽性の場合に使用される治療】

一般名	商品名の例	投与量	投与方法	投与日	間隔・回数・期間	主な副作用	備考
トラスツズマブ+ペルツズマブ+ドセタキセル					3週毎	インフュージョンリアクション, 心機能障 害, 下痢, 骨髄抑制, 吐き気, 脱毛, 口内炎, 皮膚症状, 爪症状, アレルギー反応, 浮腫	
トラスツズマブ	ハーセプチン	6 mg/kg (初回8 mg/kg)	点滴 (30分) (初回90分)	1日目			
ペルツズマブ	パージェタ	420 mg (初回840 mg)	点滴 (30分) (初回60分)	1日目			
ドセタキセル	タキソテール	75 mg/m <sup>2</sup>	点滴 (60分)	1日目			
トラスツズマブ デルクステカン					3週毎	インフュージョンリアクション, 心機能障 害, 間質性肺炎, 吐き気・嘔吐, 疲労, 食欲 不振, 脱毛, 骨髄抑制	
トラスツズマブ デ ルクステカン	エンハーツ	5.4 mg/kg	点滴 (30分) (初回90分)	1日目			
トラスツズマブ エムタンシン					3週毎	インフュージョンリアクション, 心機能障 害, 肝機能障害, 血小板減少	
トラスツズマブ エ ムタンシン	カドサイラ	3.6 mg/kg	点滴 (30分) (初回90分)	1日目			

一般名	商品名の例	投与量	投与方法	投与日	間隔・回数・期間	主な副作用	備考
トラスツズマブ+ペルツズマブ+パクリタキセル					3週毎	インフュージョンリアクション, 心機能障害, 下痢, 骨髄抑制, 吐き気, 脱毛, 口内炎, 神経障害 (しびれ・筋肉痛・関節痛等), アレルギー反応	
トラスツズマブ	ハーセプチン	6 mg/kg (初回8 mg/kg)	点滴 (30分) (初回90分)	1日目			
ペルツズマブ	パージェタ	420 mg (初回840 mg)	点滴 (30分) (初回60分)	1日目			
パクリタキセル	タキソール	80 mg/m <sup>2</sup>	点滴 (60分)	1, 8, 15日目			
トラスツズマブ+ドセタキセル+カルボプラチン (TCH)					3週毎	インフュージョンリアクション, 心機能障害, 下痢, 骨髄抑制, 吐き気, 嘔吐, 脱毛, 口内炎, 皮膚症状, 爪症状, アレルギー反応, 浮腫	
トラスツズマブ	ハーセプチン	6 mg/kg (初回8 mg/kg)	点滴 (30分) (初回90分)	1日目			
ドセタキセル	タキソテール	75 mg/m <sup>2</sup>	点滴 (60分)	1日目			
カルボプラチン	パラプラチン	AUC=6	点滴 (60分)	1日目			
トラスツズマブ (毎週投与方法)					1週毎	インフュージョンリアクション, 心機能障害	
トラスツズマブ	ハーセプチン	2 mg/kg (初回 4 mg/kg)	点滴 (30分) (初回90分)	1日目			
トラスツズマブ (3週毎投与方法)					3週毎	インフュージョンリアクション, 心機能障害	
トラスツズマブ	ハーセプチン	6 mg/kg (初回 8 mg/kg)	点滴 (30分) (初回90分)	1日目			
トラスツズマブ+ペルツズマブ					3週毎	インフュージョンリアクション, 心機能障害, 下痢	
トラスツズマブ	ハーセプチン	6 mg/kg (初回 8 mg/kg)	点滴 (30分) (初回90分)	1日目			
ペルツズマブ	パージェタ	420 mg (初回 840 mg)	点滴 (30分) (初回60分)	1日目			
ラパチニブ+カベシタビン					3週毎	皮膚症状 (手足症候群・色素沈着), 口内炎, 下痢, 吐き気, 骨髄抑制, 味覚異常	
ラパチニブ	タイケルブ	1回1,250 mg	1日1回 内服	毎日			
カベシタビン	ゼローダ	1回1,500~2,400 mg	1日2回 朝夕食後 内服	1~14日日内服 7日間休薬			

[ホルモン療法：ホルモン受容体陽性の場合に使用される治療]

一般名	商品名の例	投与量	投与方法	投与日	間隔・回数・期間	主な副作用	備考
LH-RHアゴニスト（下記のいずれかを使用）						注射部位反応，ほてり・発汗・のぼせ（ホットフラッシュ），頭痛，不眠，脂質代謝異常，骨密度低下	閉経前 タモキシフェンやアロマターゼ阻害薬と併用する
ゴセレリン	ゾラデックス	3.6 mg/10.8 mg	皮下注射	1日目 4週/12週毎			
リュープロレリン	リュープリン	3.75 mg/11.25 mg/ 22.5 mg	皮下注射	1日目 4週/12週/24週毎			
選択的エストロゲン受容体モジュレーター（下記のいずれかを使用）						ほてり・発汗・のぼせ（ホットフラッシュ）， 月経異常，血栓症，子宮内膜がん（閉経後）	
タモキシフェン	ノルバデックス	1回20 mg	1日1回 内服	毎日			
トレミフェン	フェアストン	1回40 mg	1日1回 内服	毎日			
アロマターゼ阻害薬（下記のいずれかを使用）						ほてり・発汗・のぼせ（ホットフラッシュ）， 関節痛，骨密度低下，脂質代謝異常，肝機能異常	
アナストロゾール	アリミデックス	1回1 mg	1日1回 内服	毎日			
レトロゾール	フェマーラ	1回2.5 mg	1日1回 内服	毎日			
エキセメスタン	アロマシン	1回25 mg	1日1回 内服	毎日			
選択的エストロゲン受容体分解薬					4週毎 (初月は2週毎)	注射部位反応，ほてり・発汗・のぼせ（ホットフラッシュ），肝機能障害，血栓症	
フルベストラント	フェンロデックス	1回500 mg	両臀部に筋肉内注射	1日目			
黄体ホルモン製剤						食欲増進，ムーンフェイス，子宮出血，血糖上昇 / 糖尿，血栓症	
酢酸メドロキシプロゲステロン	ヒスロンH	1回200～400 mg	1日2～3回 内服	毎日			

[ホルモン受容体陽性HER2陰性の場合に使用される治療]

一般名	商品名の例	投与量	投与方法	投与日	間隔・回数・期間	主な副作用	備考
アベマシクリブ+ホルモン療法						下痢，倦怠感，肝機能障害，骨髄抑制，間質性肺炎	ホルモン療法と併用
アベマシクリブ	ページニオ	1回150 mg	1日2回 内服	毎日			
バルボシクリブ+ホルモン療法						脱毛，疲労，口内炎，吐き気，関節痛，下痢	ホルモン療法と併用
バルボシクリブ	イブラン	1回125 mg	1日1回 内服	1～14日間服用 7日間休薬			
エペロリムス+エキセメスタン						口内炎，発疹，疲労，間質性肺炎，食欲不振， 下痢，味覚異常，感染症，吐き気，骨髄抑制， 高血糖，肝機能障害	レトロゾールまたはアナストロゾール使用後
エペロリムス	アフィニトール	1回10 mg	1日1回 内服	毎日			
エキセメスタン	アロマシン	1回25 mg	1日1回 内服	毎日			

**〔トリプルネガティブの場合に使用される治療〕**

一般名	商品名の例	投与量	投与方法	投与日	間隔・回数・期間	主な副作用	備考
〔PD-L1陽性〕 アルブミン懸濁型パクリタキセル（ナブパクリタキセル）+アテゾリズマブ						4週毎	骨髄抑制、吐き気、脱毛、口内炎、神経障害（しびれ・筋肉痛・関節痛等）、免疫関連有害事象（間質性肺炎、大腸炎、甲状腺機能低下症、肝機能障害、皮疹、下垂体炎、糖尿病、腎機能障害、末梢神経障害、重症筋無力症など）
アルブミン懸濁型パクリタキセル（ナブパクリタキセル）	アブラキサシ	100 mg/m <sup>2</sup>	点滴（30分）	1, 8, 15日目			
アテゾリズマブ	テセントリク	1回840 mg	点滴（30分） （初回60分）	1, 15日目			
〔PD-L1陽性〕 アルブミン懸濁型パクリタキセル（ナブパクリタキセル）+ペムプロリズマブ						4週毎	骨髄抑制、吐き気、脱毛、口内炎、神経障害（しびれ・筋肉痛・関節痛等）、免疫関連有害事象（間質性肺炎、大腸炎、甲状腺機能低下症、肝機能障害、皮疹、下垂体炎、糖尿病、腎機能障害、末梢神経障害、重症筋無力症など）
アルブミン懸濁型パクリタキセル（ナブパクリタキセル）	アブラキサシ	100 mg/m <sup>2</sup>	点滴（30分）	1, 8, 15日目			
ペムプロリズマブ	キイトルーダ	1回200 mg/400 mg	点滴（30分）	1日目	200 mgは3週毎 400 mgは6週毎		
〔PD-L1陽性〕 パクリタキセル+ペムプロリズマブ						4週毎	骨髄抑制、吐き気、脱毛、口内炎、神経障害（しびれ・筋肉痛・関節痛等）、アレルギー反応、免疫関連有害事象（間質性肺炎、大腸炎、甲状腺機能低下症、肝機能障害、皮疹、下垂体炎、糖尿病、腎機能障害、末梢神経障害、重症筋無力症など）
パクリタキセル	タキソール	90 mg/m <sup>2</sup>	点滴（60分）	1, 8, 15日目			
ペムプロリズマブ	キイトルーダ	1回 200 mg/400 mg	点滴（30分）	1日目 400 mgは6週毎	200 mgは3週毎 400 mgは6週毎		
〔PD-L1陽性〕 ゲムシタピン+カルボプラチン+ペムプロリズマブ						3週毎	骨髄抑制、吐き気、脱毛、口内炎、神経障害（しびれ・筋肉痛・関節痛等）、アレルギー反応、免疫関連有害事象（間質性肺炎、大腸炎、甲状腺機能低下症、肝機能障害、皮疹、下垂体炎、糖尿病、腎機能障害、末梢神経障害、重症筋無力症など）
ゲムシタピン	ジェムザール	1,000 mg/m <sup>2</sup>	点滴（30分）	1, 8日目			
カルボプラチン	パラプラチン	AUC=2	点滴（60分）	1, 8日目			
ペムプロリズマブ	キイトルーダ	1回200 mg/400 mg	点滴（30分）	1日目	200 mgは3週毎 400 mgは6週毎		

**〔BRCA病的バリエントを有する場合に使用される治療〕**

一般名	商品名の例	投与量	投与方法	投与日	間隔・回数・期間	主な副作用	備考
PARP阻害薬						骨髄抑制、吐き気、間質性肺炎	
オラパリブ	リムバーザ	1回300 mg	1日2回 内服	毎日			

患者さんごとに算出した体表面積を乗じた量を使用する場合は「mg/m<sup>2</sup>」、患者さんの体重を乗じた量を使用する場合は「mg/kg」、からだの大きさに関係なく量が決まっている場合は「mg」と表記しています。